

平成 28 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	本郷児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市青柳町5丁目24番地1		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,861,828円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄骨造平屋建 ◇敷地面積:1,468.33㎡ ◇延床面積:488.78㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場		

●利用状況

		H28 上半期	H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	9,688	8,594	10,512	9,482	11,515
	移動児童館利用者数	386	440	313	360	330
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	11	11	10	12	11
	開館日数(単位:日)	157	151	156	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(常勤)、常勤職員2人。(児童厚生員は、所長を含め3人) ③センター便り、幼児用センター便りを発行・担当小学校へ配布、館内に行事及び幼児クラブの案内掲示、児童館ホームページ掲載。ふりあネットへの登録。 ④苦情・クレームについてはマニュアルに従って対応。アンケート調査結果は館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、④適切に実施。 ②就労促進事業施設清掃班による清掃を実施。 ③使用していない部屋の消灯、エアコンの適正温度の設定等による節電を実施。節水の実施。事業において廃材の再利用に努めた。 ④おもちゃ病院のボランティアによる定期的なおもちゃの修理。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、②、③マニュアル等に沿って適切に実施。 ②消防訓練を1回実施。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの 実施状況</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 平成28年7月14日～7月15日に幼児クラブ参加の保護者28名にアンケートを実施。 回答数28人(回収率100%)</p> <p>【児童用アンケート】 平成28年8月23日～8月26日 児童センターを利用する児童23人にアンケート(無記名)を実施。 回答数 23人(1年 5人、2年 3人、3年 13人、4年 1人、5年 1人、6年 0人) (男子10人、女子13人)</p>
<p>利用者アンケートの 実施結果</p>	<p>【幼児クラブアンケート】 ○職員について ・あいさつ 満足19人(68%)、ほぼ満足9人(32%) ・言葉遣い 満足20人(71%)、ほぼ満足7人(25%)、普通1人(4%) ・対応 満足20人(71%)、ほぼ満足5人(18%)、普通3人(11%) ○施設について ・整理整頓 満足22人(78%)、ほぼ満足5人(18%)、普通1人(4%) ・使いやすさ 満足19人(68%)、ほぼ満足7人(25%)、普通2人(7%) ○意見等 ・子どもも楽しんで参加できていてよかったです。 ・初めて参加しました。すごく工夫した遊びや体全体を使う運動が多く、すごく楽しめました。また参加したいです。 ・いつも職員に声をかけていただいて、それを楽しみに来ています。親子でこれからも利用させてもらいます。 ・毎回参加しなければ…というしほりがなく、いつでも参加可能なのはありがたい。 ・とても楽しく参加できました。自由参加なところが都合に合わせて参加できるのがよかったかなと思いました。 ・いつも細やかな準備をしてくださり、楽しく安心して参加させて頂けました。作品もセンスのよいものばかりで記念に残せてありがたいです。ありがとうございました。 等</p> <p>【児童用アンケート】 ○児童センターで好きな遊び、行事 (遊び)ドッチボール、ソリティア、鬼ごっこ、人生ゲーム、ぬりえ、野球、バドミントン 等 (行事)工作、お菓子作り 等 ○児童センターでこれからやってみたい、やってほしい遊び・行事 工作、大根ひき、プール、野球、ドッチボール 等 ○児童センターにあると良いなと思うおもちゃや本 (おもちゃ等) ホッピング、ボールころがし、ゲーム、テニス 等 (本) 字の多い本を増やしてほしい 等 ○こんな児童センターがいいなと思うことについて ・自分たちの好きなことがあるし、みんなが笑顔で遊んでいるのでいいと思う。・いろいろなゲームや行事が楽しい。・オセロがあること・もっとうれくなる・工作でもっといろいろなものがつくりたい 等</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 ・スタンプ工作の際、スタンプが上手に押せなかったのが残念です。 ⇒申し訳ありませんでした。今後は上手にできるように、考えて実施します。 ・お昼ごはん1時間食べられるようになったら最高です。 ⇒食事をするための設備が整っている部屋がありませんので、実施しておりません。ご協力をお願いします。 ・クラブの日程なのですが、複数の曜日で設定されていると選択肢が増えてうれしいなと思いました。 ⇒事故防止のため年齢別で実施しているクラブがあり、複数の日程で1つのクラブを開催する日にちがありませんのでよろしくをお願いします。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>□利用促進のため 健全育成事業、地域組織活動支援事業、子育て支援事業を183回実施し、事業回数を昨年度(158回)より多く開催し、利用促進を図った。子育て支援の中でも人気のある「おもちゃのひろば」や「バランスボール」、「リトミック」や母親対象のmama'sクラフト、健全育成では岐阜工業高等専門学校の先生と生徒による「科学工作」やさまざまな夏休み行事などの事業は引き続き開催した。</p> <p>□新規事業について おもちゃ病院ぎふのスタッフに依頼し、木を使った工作教室を小学生対象に実施した。母親クラブ協力で木之本公民館で未就園児の保護者対象に親子ヨガや親子リトミック、英語リトミック、ミュージックベルの講演会などを実施し、児童センターから離れた地域へも支援を行った。また、バジルを種から栽培し、それを使って調理を行い、自然体験と食育を行った。</p> <p>□ボランティア募集について 明郷・岐阜・木之本小学校高学年、岐阜中央中学校や岐阜高校に呼びかけ募集を継続的に行った。母親クラブや運営委員にもボランティアの協力をを呼びかけた。</p> <p>□地域とのつながり 地域の子育てサークルに母親クラブ所属の地元の方にボランティアとして参加していただき、乳幼児親子に楽しい時間を過ごしていただけるよう協力をしてもらった。 青柳公園のリニューアルに伴い、地元住民が公園の新たな看板を作成するため、夏休み期間の2日間、本郷校区の自治会に会場提供や道具を貸し出すなどの協力を行った。</p> <p>□ボランティアの活躍について 児童ボランティアに野菜を育ててもらい、幼児親子に収穫体験や小学生には収穫とそれを使った食育を行った。また母親クラブ協力のもとバジルを種から育て、収穫と食育事業を実施した。また毎年恒例の夏まつりやスポーツ行事でボランティアの活躍の場を作った。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>□小学生に対しては事業後に口頭で意見を聞いていたが、小学生にも紙ベースのアンケート調査を行い、意見を聞いた。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団内の会議、研修で、ノウハウ、情報の共有化や意思統一などを行った。また、不審者対応のマニュアルの見直しを図った。</p> <p>□岐阜市社会福祉事業団のホームページからも本郷児童センターの毎月の便りが見られるようになり、より広く利用者へ広報できるようになった。ホームページの定期的な更新と状況に合わせた更新により、事業内容など利用者に詳しくわかるよう掲載したことで、遠方の利用者も多くなった。</p> <p>□各校区の青少年育成市民会議主催の親子ふれあい教室や移動児童館で児童センターの案内や便りを配布し、事業内容を説明し、利用促進を図った。</p> <p>□新聞社の取材を受け、地域の広報紙に小学生の活動の記事を掲載してもらい児童センターの活動のPRをした。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>□アンケートを乳幼児の保護者だけでなく小学生にも実施したことで、子ども目線からの事業も今後は発展させていく。</p> <p>□母親クラブや運営委員にもさらに声をかけ、地元住民のボランティアの受け入れを行い、児童センターとしての事業に不足する部分がないように協力をしていただく。</p>

●所管課の意見

<p>児童センターのおたよりを担当小学校への配布、公民館や保健センターに幼児用事業の案内を配置するほか、ホームページのこまめな更新、地域の広報紙に児童センターの活動の掲載を依頼するなどの広報活動を行った。 おもちゃ病院ぎふのスタッフ協力による木を使った工作教室、母親クラブ協力の公民館での親子ヨガやリトミック、ミュージックベルの講演会などの新規事業を含め、児童向け事業、地域活動支援事業、子育て支援事業を計183回実施し、利用促進を図った。 地域の小・中・高校生へのボランティア募集も継続的に行っており、児童センターのまつりで活躍するほか、敷地内の畑の手入れを行い、バジルを種から育て、収穫、調理する食育事業を行った。 また、近隣の青柳公園のリニューアルに伴い、公園の新たな看板を地元住民が作成することになったため、自治会に会場提供や道具の貸し出し協力を行うなど、地域団体との交流、連携も積極的に図っている。 職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・食育事業を児童センターで行っていることについて、大変素晴らしいことなので、継続するとともに事業を発展させていきたい。 ・施設内での飲食については各施設の利用者アンケートなどにより要望も多い為、安全面、衛生面に配慮し、可能な限り取り組んでいきたい。 ・利用者アンケートについて、「満足」・「不満」・「やや不満」などの選択肢があるが、ごく少数ではあるが「不満」・「やや不満」などの意見は業務の改善や利用促進の貴重な意見であるため、「不満」・「やや不満」の意見の場合、「なぜ不満であるのか」、「どうなるとよいのか」を聞き取れるようなアンケートの仕組みにしていきたい。 ・管理運営は適正に行われており、良好と認められる。
--